

高岸税務会計事務所通信

【コラム】 6月10日の「時の記念日」は1920年に制定されました。戦前に作成されたポスターのキャッチコピーは「時間ニ待ツタナシ」。時間は無限でも「自分の時間は有限」だと思えば、やるべきことも見えてきます。せめて気持ちだけは「一日一生」のつもりで日々を大切にしたいものですね。

365日が楽しくてたまらない!「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【脱平均点経営のススメ】

気温が1 違えば物の売れ方が変わるそうです。これからの季節なら平均気温が20 でエアコン、23 でビール、24 で水着、30 でかき氷などが売れ始めると聞きました。物が売れるのも商売が繁盛するのも、またはその逆も、すべて理由あってのことです。ある街角のラーメン店が、細々とでも営業を続けていられた理由は「営業時間」でした。その地域で朝の5時まで営業しているラーメン屋はそこだけ。深夜にぼんやり灯るその店の赤ちょうちんは、はしご酒で気分が良い酔っ払いにとってミシュランの五つ星以上の価値です。店構えもメニューも味も平均点。でも営業時間だけは120点。だから、なんとか商売が成り立っていたのです。ところが、この不景気で閉店時間が3時になり、1時になり、とうとう12時閉店になったとき、シンデレラの魔法がとけました。12時閉店のラーメン屋ならいくらでもあります。しかもラーメンが旨いとなれば、すべてが平均点のその店にまず勝ち目はありません。だから、魔法がとける前に気づくべきだったのです。なぜ自分の店がお客さんに選ばれていたのかを。何でもそこそこできる人は重宝がられます。また、とりあえず一般的に必要な商品が並ぶお店は大変便利です。しかし、平均点をいくつ並べたところで平均点以上の存在にはならないことを思えば、どちらの場合も決定打に欠けます。つまり替えが利くのです。そこでなくても他がある。あなたでなくても、きっとだれか他にいます。それが商売ならば、決定打に欠ける会社はお客さんに選ばれべき理由がないのと同じことでしょう。今取引のあるお客様にもあなたの会社を選ぶ理由があります。それを自分なりに分析して「120点で評価してくれた理由はここなのか」と判明すれば、これからも良いお付き合いが続くでしょう。しかし、120点の理由が1つも見当たらないとしたら・・・。

今、あなたの会社をこのラーメン店で例えるとすれば、5時ですか、3時ですか、それとも1時ですか。シンデレラの魔法がとける前に、1つを磨き上げましょう。



トレンドを斬る!

NHKの大河ドラマは、「篤姫」に続き「天地人」も好調です。そんな歴史ブームの中、「レキジョ」と呼ばれる歴史好きな若い

女性が増えています。ゲームや小説で戦国時代に親しむ彼女たちは、各々好みの武将を見つけ、家紋グッズを集めたりゆかりの地を探訪したりして楽しんでいます。今どきの男性にはあまり見られない野心や信念、カリスマ性という武将たちの魅力は、いずれも現代に求められるリーダーの資質です。歴史に学ぶ賢者になる時なのかもしれませんね。



今を生きる
先人の言葉

私たちが人とは、
私たちが費やした
努力だけの価値はある

フランスのノーベル賞作家であるフランソワ・モーリアックの言葉。努力をすれば報われるとは限らないが、成功した人は、すべからず努力をしているものである。

知っとこ!「税務のマメ知識」

【映画『マルサの女』で有名な「マルサ」って?】

もう20年程前になりますが、宮本信子が演じる女性査察官と脱税者との戦いをコミカルかつシニカルに描いた伊丹十三監督による映画『マルサの女』は、今でもご記憶の方が多いと思います。

そもそも「マルサ」とは国税局査察部のことを指し、国税査察官は全国で約1300名いると言われていています。このマルサが取り扱う事案は「巨額」かつ「悪質」なものに限られます。平成19年度のデータでは220件の査察に着手しており、検察庁に告発したものは158件でした。脱税額は平均で2億円弱、有罪判決率はなんと100%でした。脱税の手口として最近増加しているのは、FX取引による利益除外や消費税の科目仮装によるものが多いようです。

また、売上除外といった昔からの手口も相変わらず多いようです。



気になるお金の隠し所ですが、手の込んだものでは、鉄道模型の中に第三者名義のトランクルームの鍵や、電気ポットに金の延べ棒を隠していたというケースもあったようです。しかし、こんな所に隠したもので見つかるのですから、海千山千の「マルサ」に目をつけられたら逃げようがありませんね。

なお脱税で捕まると「懲役」または「罰金」といった刑事罰を受け、その上「精神的苦痛」もひどく「社会的信用」も大きく失墜します。やはり「脱税」ではなく、コツコツと続ける「節税」が一番ですね。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：コア・コンピタンス】

ゲイリー・ハメルとプラハラードの著書『コア・コンピタンス経営』によって広められた概念で、企業において核となる独自の強みのこと。他社が真似できないような独自の技術やノウハウなど成功を生み出す能力であり、圧倒的な競争優位となる事業分野などをいう。例えば、シャープの薄型ディスプレイ技術やホンダのエンジン技術などが挙げられる。個々のスキルや技術などを意味するのではなく、それらを統合した企業力である。

サラリーマン妻
川柳

（抜けれ
ないなら
いっそ泥
パックでも
しよっと）

雨降って
地固まる
までが
泥沼で

高岸税務会計事務所

〒569-0803

大阪府高槻市高槻町 9-19-202

電話：072-683-0230 FAX：072-683-0376

<http://www.gishitax.com/>

mail：info@gishitax.com